

見学・体験

0～2歳児 児童発達支援事業所
明晴プレスクールめだか

聞こえない・聞こえにくいお子さんと子育てを支援します。知的な遊びから家ではできない思い切った遊びまで、親子で楽しみながらお子さんの「ことば」と「こころ」と「からだ」を育てましょう。



明晴プレスクール
めだか
公式サイト

お子さんの未来が見える！ 明晴学園

お子さんが幼児や小学生、中学生になったときのことを想像して、成長したろう児（ローモデル）に会いましょう。きっと、聞こえない・聞こえにくい子どもの印象が変わり、子育てが楽しくなるはずです。



明晴学園公式サイト
<https://www.meiseigakuen.ed.jp/>



Instagram
MEISEIGAKUEN.FOR.DEAF

乳児相談は、いつでも受け付けています



幼稚部・小学部・中学部

〒140-0003 東京都品川区八潮5-2-1
電話：03-6380-6775
FAX：03-6380-6751



聞こえない・聞こえにくい

赤ちゃんの育て方



ろう児という呼び方

明晴学園では、聞こえない・聞こえにくいお子さんをろう児と呼んでいます。これには、聴力に関係なく「生きるための、見る力をもって生まれた子ども」という肯定的な意味が含まれています。明晴学園の乳児クラスにあたる明晴プレスクールめだかの職員は、「ろう者」と「ろう児を育てた聞こえる親」です。当事者としてのアドバイスや同じ子育ての経験から、ご家族がろう児の特徴を知って楽しい子育てができるようお手伝いします。どんな小さなことでも気軽に相談してください。

もくじ

聞こえない・聞こえにくい赤ちゃんの力	2
●ろう児を育てるとのこと	3
●目で情報をあつめる	3
●視線を合わせる	3
●ろう児の視界	4
●ことばのはじまり	5
保護者支援	7
●コミュニケーションのポイント	8
●生活の中で伝える場面	9
めだかの活動	10
●0～2歳児のための教材	11
参考資料 見てみよう！読んでみよう！	13

聞こえない・聞こえにくい 赤ちゃんの力

聞こえない・聞こえにくい赤ちゃんは、生まれたときから目で情報を取り込む力をもっています。その力は、赤ちゃんが自分の命を守り、心を育て、成長しつづけるために欠かせない“生きる力”です。両親がろう者で、主に手話で生活している家庭をデフファミリー（Deaf family）と言います。デフファミリーの場合、ろうの赤ちゃんも聞こえる赤ちゃんと同じように育てます。それは、ろうの両親が赤ちゃんの見る力を知っているからです。聞こえるお父さんやお母さんは、赤ちゃんが聞こえにくいと診断されて戸惑っていると思いますが、赤ちゃんの見る力を活用すれば、親子の愛着関係を築くことができます。

この冊子では、聞こえにくい赤ちゃんの特徴や接し方を紹介します。

赤ちゃんが見る力によって多くの情報を得ることが

できれば、いずれ補聴器や人工内耳をしても

足りない部分を補えるようになります。いま

大切なことは、聞こえやことばだけにとらわれず、聞こえにくい赤ちゃんがわかる方法で、

お父さん・お母さんがおおらかに子育てを

楽しむことです。難しく考えず、まずは、

赤ちゃんの特徴を理解して、新たな子

育てに挑戦してみましよう。



ろう児を育てるということ

子育ての考え方を「聞こえない子を育てる」から「目の子を育てる」に変えてみると、いますぐ家庭でできることがたくさん見えてきます。それはとても些細なこと、誰にでもできますが、教えてもらわないと気づかないことでもあります。では、小さなことから見つけていきましょう。

目で情報をあつめる

ろう児は生まれたときから目で情報を集めています。これは生命にかかわる大切な行動です。自分のそばに誰がいるのか、どんな表情をしているのか、何が近づいてきたのか。ろう児は見ることで周囲の状況を判断します。

視線を合わせる

赤ちゃんに接するときが一番大切なのが視線を合わせることです。別の方向を向いているときは、肩や胸あたりをやさしくトントントンと叩いて気づかせ、視線を合わせましょう。その後で、抱っこしたり、ミルクをあげたり、おむつを替えたり、着替えをすることを見てわかるように伝えてから行動します(参考:P7~9)。



ろうの赤ちゃんにとって「見えないコト(もの)は、ないコトと同じ」です。後ろから抱っこしたり、視線を合わせずおむつを替えたりすると、「突然、何かが起きた」ことになります。聞こえる子は、わずかな物音でも事前情報になりますが、ろう児にはわかりません。赤ちゃんが安心して生活できるように、視線を合わせる子育てを心がけましょう。



ろう児の視界

めだかに通うろうの赤ちゃんのほとんどが、びっくりするような反り返りをします。病院で相談すると「反り返りが多いと疑われる病気に、脳性まひや発達障害、自閉症がある」と言われて不安になる方も多いと思いますが、ろうの赤ちゃんは、見るために反り返ります。ぜひ、お子さんの後ろから周囲を見まわしてください。そこにはどんな世界があるでしょうか。



ことばのはじまり

ことばの土台は、音声や指文字の「あ・い・う・え・お」ではありません。赤ちゃんとお母さんやお父さんが気持ちを通わせ、伝え合う経験と共感の積み重ねが『ことばの土台』になります。その基本となるのが視線です。ろう児もろう者も、目を合わせることからコミュニケーションがはじまります。逆に、目を合わせずにコミュニケーションすることはできません。聞こえる人の中には目を合わすことが苦手な人もいますが、お子さんとは、しっかり目を合わせてあげてください。

ろうの赤ちゃんと気持ちを伝え合うために、一番大切なのが表情です。ですが、嬉しい顔、悲しい顔、怒った顔という抽象的な表現ではすぐに限界が来てしまいます。ここで効果的なのが、日本手話の手にあらわれない非手指要素「NM (Non-Manuals)」と呼ばれる文法で、目の開き方や眉の位置、うなずき、首振りなどです。他にも、指さし「PT (Pointing)」もたくさん使います。

お母さんやお父さんのことばかけが多いほど、赤ちゃんのことばの発達も早くなります。デフファミリーの場合、生後4ヵ月頃から手話の喃語が出はじめ、早い子では8ヵ月頃には手話単語(幼児語)を話しはじめます。

ろう児の言語発達



デフファミリー

視線を合わせる
(コミュニケーションの基本)

▼
要求(NM)

生後4~5ヵ月

▼
喃語(手話の喃語)

生後8ヵ月

▼
幼児語(赤ちゃん手話)

ろう児の発語は、主にNM、PT、CL、RSの順で現れます。聞こえる子は名詞主導ですが、ろう児は顔の動き(NM)から話しはじめます。

NM
(Non-Manuals)

手以外で表わされる手話の表現。
目の開き方や眉の位置、うなずき、首振りなどで文法を表わす。

PT
(Pointing)

指さし。人称(私、あなた、彼)や指示代名詞(これ、それ、あれ)を表わす。

CL
(Classifier)

物の形や動き、位置などを表わす手話の表現。

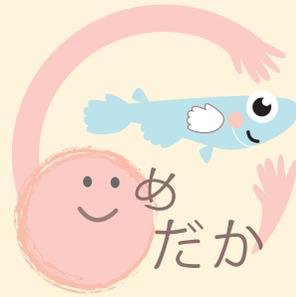
RS
(Referential Shift)

話者が「現在の自分」以外の人物の考えや行動を表す表現。

保護者支援

明晴学園の乳児クラスは、児童発達支援事業所明晴プレスクールめだかとして、一人ひとりのお子さんの発達に合わせた個別支援計画を作成

します。その中には、お子さんの言語指導だけでなく、ご家族のコミュニケーションや子育て支援も含まれています。聞こえるご家族の場合は、ろうのお子さんへのことばかけの方法やお子さんの要求や喃語、幼児手話をご家族に解説し、デフファミリーには、コミュニケーションにストレスのない手話環境で子育てや早期教育の情報を提供します。



例

- お子さんの視線の先にある情報の伝え方
- 発達に合わせた視線の使い方 (共同注視と共同注意)
- お子さんの意思や要求 (NM、PT、CL など) の代弁
- 手話喃語や幼児語などの言語発達の解説
- ことばと行動が一致する。表現しやすい手話 (手型) を使ったことばかけの方法 表現例:「たくさん／首振り(ダメ)／少し」
- お子さんがイメージできるような話し方
- NMやPTやCLを使った注意の仕方や褒め方
- お子さんの気持ちを表現しやすい手話で言語化する方法
- お子さんがイエス・ノーで答えやすい具体的な話し方
- 手話の語彙と日本語の語彙の違いやその使い方
- その他 (ロールモデル、論文、海外情報の紹介など)

コミュニケーションのポイント

ろう児がわかりやすい「ことばかけ」の例をご紹介します。

- **バリエーション (NMの使い分けを学びましょう)**
 - 褒めるとき・叱るとき、注意の仕方、確認の方法など。
- **ローコンテクスト (話し方のコツを覚えましょう)**
 - ろう児に合った説明 (ポイントをとらえた話し方)
理由→結果ではなく、結果→理由の順に話します。
 - ろう児がすぐに納得できるような話し方。
「暑いから上着を脱ぐ」ではなく「上着を脱ぐよ、暑いから」
 - あいまいな表現ではなく、より具体的に話しましょう。
「Aにする? Bにする?」などの選択肢もわかりやすいです。
- **手話だけにこだわらない(ものを使う)**
 - おむつを替えるときは、目を合わせた後、おむつを見せて、赤ちゃんのおなかをポンポンと叩いておむつ替えをします。
- **表情に注意したコミュニケーションの方法**
 - うなずいて「ダメ」と言うのは「いいよ」と伝わります。
笑いながらの「ダメ」も「いいよ」と同じ意味になります。
しっかり目を合わせて、首を横に振って「ダメ」と伝えます。

● 指差し(PT)を使ったコミュニケーションの方法

- スマホを握って離さないお子さんに
スマホを指差しした後に自分(お母さん)を指さして、
赤ちゃんを指さした後に好きなおもちゃを指さします。
『スマホはママの、〇〇ちゃんはクマさん』と伝えます。
- 「トイレに行くね」だけでは赤ちゃんが不安になります。
「トイレに行って、戻るね」と指さして伝えましょう。
- 「お片付け」だけの手話では情報が足りません。
指さし(私、あなた、あれ、それ、あっち)を使いましょう。

生活の中で伝える場面

● ろうの赤ちゃんの視界から外れるとき

「〇〇に行って戻る」ことを伝えてください。お母さんが突然
いなくなって、いつ戻ってくるかわからないと不安になります。
「ミルクを作りに行って戻るね」「靴を取りに行って戻るね」

● 外出するとき

外出前には、必ず絵や写真、手話を使って
行き先を伝えましょう。1歳を過ぎたら、
誰と、どこへ、どうやって行くのか、行った
先に何があるのかなども伝えます。
「家族で、おばあちゃんの家へ、車で行くよ」
「買い物に、自転車で行く。イチゴを買おう」



めだかの活動

明晴プレスクールめだかでは、その日の療育の流れとねらいがわかる
ように、教室に活動案が貼ってあります。その日の療育の内容が一目で
わかるだけでなく、聞こえる保護者にとっては手話の勉強の事前情報
にもなります。また、ろう者の保護者にとっても、早期教育と手話に
関する情報提供になっています。

活動は、1つのテーマを数日かけて深めていきます。例えば、「紙」の
遊びでは、新聞紙や花紙など種類の異なる紙でさまざまな遊びをします。

ちぎったり、切ったり、形
を作ったり、飛ばしたり、
水を加えて紙粘土にしたり、
最後は乾いたお皿に
変化します。このように
「遊びを深める」ことで、
さまざまな概念が作られ
ていきます。そして、遊びを
通して手話の表現を知り、
やがて、自分でそれを表
現できるようになって行
きます。

4月20日(金)



時間	活動	ねらい
10:30	課題あそび 【新聞紙で あそぼう】	<ul style="list-style-type: none"> • 粗大運動を楽しもう • 新聞紙を段ボールに入れてみよう • お風呂じっこを楽しもう • いろいろな動作を楽しもう (ひろげる・ひっぱる・ゆぶる) (ちぎる・ねじる・まるめる・なげる) (かさねる・ならべる・つなげる) <p>★CL/NMs (CL: かたちの変化、遊びかたなど) (NMs: 量の加減、力加減の強弱など) ★指差し(場所や方向などの指差し) 【/PT1・PT2・PT3/】</p>
12:00	昼食 オムツ替え・トイレ	  
13:00	課題あそび 【外であそぼう】	<ul style="list-style-type: none"> • 粗大運動を楽しもう • からだをたくさん動かそう • 好きな遊具で遊ぼう • 誰と一緒にあそぼうかな <p>★CL/NMs (CL: 遊具遊具のかたち、遊びかたなど) (NMs: 高さや速さの動きの強弱など) ★指差し(場所や方向などの指差し) 【/PT1・PT2・PT3/】</p>
13:50	おしゃの時間 帰りの会	 

今週のテーマは
『好きなあそびをたのしもう』です。

0～2歳児のための教材

手話リズム

「手話リズム」は聞こえる子どもたちが幼稚園などで楽しむ「歌」に相当します。目とからだで楽しめるろう児の歌です。



歌と同じように、手話リズムの歌詞には0～2歳の生活では使わないことばや「名詞と動詞」「単数と複数」などが出てきます。

(例)「すすき」や「お供え」、「節分」と「豆まき」、「逃げだす」など。

『タン・タン・タンタンタン』の軽快なリズムと展開、手話の音韻(手型・動き・位置)を楽しみながら新しいことばも覚えていきます。歌詞イラストを見ながら、自分で手話リズムを楽しむ子もいますし、幼稚部になると手話リズムを創作して家族や友だちに披露する子もいます。



見てわかる! 視覚教材

手話の発達に応じた遊び方ができる「かず・すうじ表」

0～2歳児でも「かず」や「すうじ」の概念を育てることができます。

同時に手話の手型(しゅけい)や手話単語も自然に覚えていきます。

指文字の写真が相手から見た形



【遊び方】

写真に手を合わせて遊ぶ

指文字の写真が自分から見た形



【遊び方】

写真と同じに見えるように自分で指文字をつくる

生活のルールやマナーのパネルは、子育ての困った!に役立ちます。他にも「手話の絵本読み」「手話講座」など、見てわかる教材がたくさん用意されています。



参考資料 見てみよう! 読んでみよう!

web サイト

NPO 法人バイリンガル・バイカルチュラル ろう教育センター

手話動画とテキストで子育てに必要な手話も学べる『聞こえない・聞こえにくい子の子育てを支援する情報サイト』



『人工内耳をしても手話が必要なわけ』The Conversation 誌 (2歳児とお母さんが手話で話す動画／日本語字幕付き)

アメリカの3人の研究者による『人工内耳をしても手話が必要なわけ』という記事。The Conversation 誌は、2011年にオーストラリアで始まった研究者と編集者がタッグを組んだニュースメディアで、信頼性が高いとして知られる雑誌です。



『もっと知ってほしい 手話のこと』明晴学園公式サイト

聞こえない子どもたちが、聞こえる大人の疑問に答えています。【注目の質問】「聞こえないことは可哀想?」

※その他の質問は、明晴学園公式サイト「明晴ニュースから『もっと知ってほしい、手話のこと』をご覧ください



論文

『Dinner Table Syndrome: A Phenomenological Study of Deaf Individuals' Experiences with Inaccessible Communication』 (ディナーテーブル症候群:家族団らんに参加できないろう者の経験をもとにした現象学的研究)

著者:David Meek ロチェスター工科大学・国立ろう工科大学【聴者家族とのコミュニケーションや〔音声〕言語から取り残されること】【会話を通じた帰属意識と、家族の中で排除される感覚】【会話から取り残されていたと実感するとき】といったろう児・者が感じる【愛情は感じるが、つながってはいない】という感覚を分析した研究。2020年6月21日「The Qualitative Report」Volume 25 No.6



『Deaf children need language, not (just) speech』 (ろう児が必要としているのは言語であって、(単なる)口話ではない)

著者:Matthew L. Hall マサチューセッツ大学心理学部、Wyatte C. Hall ロチェスター大学の医療センター、Naomi K. Caselli ボストン大学 2019年3月13日アメリカの学術誌「First Language」に掲載された論文

